

★防衛省沖縄防衛局は28日、翁長雄志県知事による辺野古埋め立て承認取り消しの効力を停止する国土交通相の決定文書を受け取ったことから、本体工事の着手届を沖縄県に提出。翁長知事は同日、「断じて容認できない。今後、辺野古に新基地は造らせない」という公約の実現に向け、全力で取り組む」とのコメントを発表。

赤旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代180
Tel 33-6118

【日本共産党富山県委員会が県予算要望】 踏切段差解消・歩道修繕など

日本共産党富山県委員会
は二十七日、二十八の
両日、石井隆一知事に提
出した二〇一項目の「二
〇一六年度富山県予算
編成に関する要望書」に
ついて、県当局と交渉し
ました。ひづめ弘子県
議、参議院選挙区予定候
補の高橋わたる氏をは
じめ地方議員などが参
加。砺波からは多田ひろ
かず前市議が参加しま
した。



▲県当局に要望をつたえる多田前市議（県議事堂）



▲歩道が傷んでいると、高齢者がつまずくなど危険



▲線路と道路の段差が大きく、車の振動などが大変

三島町踏切の段差解消
周辺歩道の修繕を
住民からの指摘でJ
R城端線の三島町踏切
の段差について県当局
は、「軌道敷内なのでJ
R西日本に対応を依頼
する」、「周辺の歩道の傷
みについては通行に危
険な箇所から順次修繕
をすすめる」と回答。多
田前市議は「JRが関わ
ることは困難が予想さ
れる。段差については道

路が高いので、道路を削
るなどの手法も考えら
れるのでは？」として、
具体的な見通しについ
てたずねたところ、「J
Rの軌道敷内について
は県としては手が出せ
ないが、JRと協議して
改善をすすめる。なか
なかなかすまないのであ
れば、県道部分に手を加
えることで改善できない
か検討したい」、また、
歩道については「樹脂面
が剥がれているところ
を順次修繕していく。水
路蓋についてはグレー
チングにする方向で地
元と相談したい」との回
答でした。

ダム以外の治水対策 検討内容はわからず

利賀ダムによる治水
効果は低いこと、地すべ
りの危険などから利賀

ダム本体建設は中止す
べきと主張してきまし
た。「利賀ダム建設事業
の関係地方公共団体か
らなる検討の場」が二回
開かれましたが、「ダム
によらない治水対策を
二、五案に絞り込んで
説明される予定」とい
うだけで、検討の内容など
は県当局もわからない
とのこと。また、ダム工
事用道路を一般に利用
できるよう(少なくとも
緊急時など)という要
望は県当局も認識はし
ていました。

住宅リフォーム助成は 地域振興策として

住宅リフォーム助成
について、地域経済への
波及効果が大きいので、
土木部や商工労働部と
いったくくりでなく「地
域振興」として検討し実
施するよう求めました。

★25日投票された宮城県議選で日本共産党は、4議席から8議席に倍増。自民党は選挙前から4議席減らして27議席と過半数割れ。共産党は県議会第2党に躍進。議案提案権と代表質問権を獲得。「戦争法を廃止する国民連合政府実現を」の声を宮城から全国に発信する結果です。

【ただのじやき】

25日 岩手県にピアノを
シンセサイザー奏者の
滝沢卓さん(戦争する国づく
り反対共同行動などのよびかけ
人にもなっていた)に
す)がピアノを運ぶ人手を
もとめているとフェイス
ブックで知り、長く岩手県
にいた私としては、手伝い
に行かないと!と、非力な
がら提供者のお宅(伏木)
に積み込みの手伝いに行
きました(北日本新聞十月
二十六日付記事・左写真)。
滝沢さんの同級生や音楽
仲間と一緒に家からピ
アノを運び出し、トラックに
のせて、福野の竹田楽器さ
ん(調律お願い)まで。取
材にきた北日本新聞の記

滝沢さん(小杉・シンセ)呼び掛けで実現

東日本震災の被災地で演奏活動続ける岩手県青井谷(小杉)のシンセサイザー奏者・滝沢卓さん(57)は11月、高崎市伏木東一宮の野田武蔵(78)から提供を受けたピアノを岩手県山田町の浜(ミニユニティセンター)に届ける。25日は南砺市福野の竹田楽器で調律するため、野田さんの自宅からピアノを運び出し、運搬に向けて準備を進めた。

ピアノ寄贈 復興後押し

野田さん(高岡)提供
岩手・山田町へ



野田さん(左)宅からピアノを運び出す滝沢さん(左から2人目)ら

滝沢さんは震災後、毎年岩手県を訪れ、避難所や仮設住宅の集会所で演奏活動を展開。このしもら6月に約3週間滞在し、各地を回った。田の浜(ミニユニティセンター)で演奏した際、住民から「津波でピアノが流された」「ピアノがあっても仮設住宅には置けない」との声を聞き、楽器を贈る支援を考えた。今回、フェイスブックで協力を呼びかけたところ、滝沢さんの母が、高岡南高校で教諭を務めたところのある野田さんから提供の申し出があった。野田さんは「娘が小学生の時に使っていた。再利用してもらえばありがたい」と話す。ピアノの運び出しには活動に賛同する仲間4人が協力し、トラックの荷台に載せた。滝沢さんは「楽器は音楽家にとって命の次に大切なもの。業しそくに演奏する姿を早くみたい」と復興支援へ思いを新たに

▲多田はうしろを持っていたので、前の人のかげになって写っていません。

【続 きんこの日誌】

21日 今日二時半に目が覚めてしまいました
このところ、というか最近ずつとというか、とにかく朝早く目が覚めてしま



います。
連続して七時間とか八時間とか寝続けることができず、たとえば晩酌で気持ちよくなつて九時過ぎに横になったとしたら、大抵その場でいびきをかき始めることになって、ハッと目が覚めるとそれが午前二時半であったり三時二十分であったりするわけです。二時十分だったりしたらさすがに「もう一度寝よう!」と必死に布団に潜り込みますが、三時をまわっていると諦めます。

そのせいか五分から十分の昼寝が欠かせなくなりました。これを取らないと猛烈な眠気とあくびの連鎖で午後の仕事がちやんとできなくなってしまうのです。もしも仮眠の取れない職場だったらとても務める事ができないなと少し恐ろしい気にもな

ります。早く目の覚める原因は早く寝てしまう事であつて、よく言われるような年齢による体の衰えではないと思つています。

以前は、その日のうちに寝てしまうのはもつたいないとも言わんばかりの時間の使い方をしていたのですが、きつと今だつて晩酌をせずに読書で夜長を楽しめば五時や六時までは寝ていることができるに違いありません。

しかし無理にそんなことをする必要もありません。もうすぐ早起きの素麺作りに入るので、この習性は好都合であつて、晩酌に入る時間をもう少し早めてやれば調度になるのですから・

27・28日 県予算要望(一面)
「特別支援学級の教員一人当たりの人数は国の基準に合わせています」…県で基準を決めることは出来るそうですから、やる気の問題です。子どもや現場の状況などに合わせて柔軟に対応すべきでしょう。細かなことから国政の問題まで、各地の意見や要望をきくことも勉強になります(次週続報)。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-3369-8216)